

児童発達支援事業所における自己評価結

公表：令和 2年 3月23日

事業所名

児童発達支援 あゆみ教室

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1			
	2	職員の配置数は適切である	1	4		・指定基準は満たしているが、研修等は療育時間外に出席し対応している	・職員の配置について検討する
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5			・本人に分かりやすくスケジュールを提示している ・当日のスケジュールを個々に文字、イラスト、写真で提示している ・活動に応じて部屋を変えている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			・活動内容（個別、集団、訓練）に応じてスペースを調整し対応している ・下駄箱には靴を脱ぐ際の足型を置くなど脱ぎ履きに区別を示すなどの配慮を行っている	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			・療育終了後、毎日全職員でミーティングを実施し、子どもたちの実態と各職員の関わりを検証し、次回以降の療育方法を検討している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				・平成30年度から事業所の自己評価を実施及び公表し、保護者等の意見を踏まえて改善に努めている
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		実施済み	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		1	4		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			・臨床心理士による定期的な保護者支援と併せて職員研修を実施し、療育の質の向上に努めている	
適切 な 支 援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			・子どもの評価と保護者のニーズに基づき児童発達支援計画を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			・ポータージ早期教育プログラムを使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	1		・子どもの支援と同時に家族への支援も行っている	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			・定期的に確認しながら課題を設定している ・中間評価、終了時評価を実施している	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			・担当月の職員が中心に職員全体で行っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			・パターン化になりやすい子どもたちへの経験になるように工夫している ・活動内容を設定する職員を月交代とし、個別に関わる際も可能な限り変化させる	

の 提 供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5			・1回の利用の中で個別活動と集団活動の時間を設けている	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			・毎日支援開始前に職員間で打ち合わせを行い支援内容や役割分担について確認している ・タイムスケジュールを表に可視化して役割を明確にした	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			・振り返り時には特記事項を記録している ・療育終了後は、全職員でミーティングを実施し、次回以降の適切な療育方法を検討している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・個人別に課題毎の記録を添付し、1カ月分を確認できるようにしている ・ミーティングや課題の記録表を作り変化や改善点等を記入している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			・子どもの発達に応じて支援計画の見直しについて行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5			・保健師とは密に連絡をとり、連携しながら支援を行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2	2	・保育園訪問をして園での様子などを確認している	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2	2	・保護者同伴の通園のため、必要な情報は保護者を通して関係機関と連携している	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	2	・保護者の意向に応じて対応している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		・保護者の意向を聞きながら入学予定校に療育内容や子どもの様子等の情報の提供を行っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		・県内の児童発達支援事業所との交流会を行い保護者や職員間の意見交換を行った	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	4	・個別対応で同施設内の子育て情報センター、キッズスペース等に参加している	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2		・子ども支援部会の会議に出席している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			・保護者との分離で行った活動内容は降園時に口頭で報告、もしくは記録表の確認をしてもらっている	

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	3	・病院で実施されているペアレント・トレーニング等を案内している		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		・入室決定後必ず実施している		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		・入室前に必ず実施している		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・定期的に臨床心理士による相談会を開催している ・保護者からの相談があれば職員間で協議した後助言及び支援をしている		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	1	・保護者が利用する談話室を設けている ・療育時間内に保護者との分離時間を設定し保護者間の交流及び情報交換を支援している	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			・迅速な対応を心掛けているが、難しい問題等は職員間で協議して対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		2	3	・毎月行事予定や連絡については行っている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			・事務所は入室者に制限を設けている ・記録物はシュレッダー及び溶解で処理している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			・子どもや保護者に合わせてメモや壁に提示するなどの方法で対応している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	4		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1		・年2回実施の施設（りんく）全体での訓練に参加している	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1		・定期的に行っている	・利用者へは今後予告や参加の促しを積極的に行っていく ・今後あゆみ教室のみでの訓練を実施する方向で検討する
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			・入室時や利用日に確認している ・保護者同伴のため服薬等は保護者が行っている	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			5	・弁当、おやつは保護者の管理のもと持参になっているので、該当しない	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	1	2		・今後作成予定
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			・臨床心理士を講師として研修機会を開催している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		2	3		・今後検討する